

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載
 【部門区分】第1部門第1区分
 【発行日】平成29年4月27日(2017.4.27)

【公開番号】特開2016-136876(P2016-136876A)
 【公開日】平成28年8月4日(2016.8.4)
 【年通号数】公開・登録公報2016-046
 【出願番号】特願2015-13445(P2015-13445)
 【国際特許分類】

C 1 2 M 1/34 (2006.01)

G 0 6 T 1/00 (2006.01)

C 1 2 Q 1/08 (2006.01)

【F I】

C 1 2 M 1/34 D

C 1 2 M 1/34 B

G 0 6 T 1/00 2 9 5

C 1 2 Q 1/08

【手続補正書】

【提出日】平成29年3月23日(2017.3.23)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

細菌または真菌の同定検査や薬剤感受性検査を行う検査装置であって、
 複数のウェルを有し、各ウェルに抗菌剤と前記細菌または真菌とを含む培養液中の菌を
 予め設定した複数の時点において顕微鏡観察を行う顕微鏡観察光学系と、
 前記顕微鏡観察で得られる画像を表示画面上に表示するプロセッサと、を有し、
 前記プロセッサは、前記画像に基づいて、前記細菌または真菌に対して前記抗菌剤が与
 えた影響を示す影響判定情報を、複数の種類の抗菌剤及び複数の種類の濃度について生成
 し、当該影響判定情報を時系列で表示する、検査装置。

【請求項2】

請求項1において、
 前記プロセッサは、
 前記顕微鏡観察によって得られた複数の画像を比較することによって所定の培養条件
 で前記細菌または真菌が増殖するか増殖が阻害されるかを判定し、
 対象の抗菌剤について、複数の濃度条件で前記細菌または真菌が増殖するか増殖が阻
 害されるかを判定することにより最小発育阻止濃度を特定し、
 前記対象の抗菌剤での前記最小発育阻止濃度を特定した後、当該最小発育阻止濃度と
 ブレイクポイントとを比較して前記細菌または真菌の薬剤感受性判定を行い、
 前記薬剤感受性判定の結果を前記表示画面上に表示する、検査装置。

【請求項3】

請求項2において、
 前記プロセッサは、前記薬剤感受性判定の結果を表示する際に、予め指定された抗菌剤
 についての情報を強調表示する、検査装置。

【請求項4】

請求項1において、

前記プロセッサは、対象の抗菌剤の複数の濃度条件のそれぞれにおいて前記細菌または真菌が増殖するか、増殖が阻害されるかどうかを予め設定した時間ごとに判定し、判定結果を前記表示画面上に表示する、検査装置。

【請求項 5】

請求項 1 において、

前記プロセッサは、対象の抗菌剤の複数の濃度条件のそれぞれにおいて前記細菌または真菌が増殖するかどうかを予め設定した時間で顕微鏡観察した結果に基づいて、前記細菌または真菌の面積を求め、前記細菌または真菌の面積の時系列変化をプロットしたグラフを生成し、前記表示画面上に表示する、検査装置。

【請求項 6】

請求項 1 において、

前記プロセッサは、対象の培養条件において前記顕微鏡観察で得られる画像を、時系列に並べて前記表示画面上に表示する、検査装置。

【請求項 7】

請求項 1 において、

前記プロセッサは、前記顕微鏡観察で得られる画像を、対象の抗菌剤の複数の濃度条件に応じて並べて表示する、検査装置。

【請求項 8】

請求項 2 において、

前記プロセッサは、前記薬剤感受性判定の結果を予め設定した時間ごとに前記表示画面上に表示するとともに、複数の細菌または真菌についての前記薬剤感受性判定の結果を並列表示する、検査装置。

【請求項 9】

請求項 2 において、

前記プロセッサは、異なる患者間の前記薬剤感受性判定の結果を、比較により前記細菌または真菌の株を識別できるように、予め設定した時間ごとに前記表示画面上に表示する、検査装置。

【請求項 10】

細菌または真菌の同定検査や薬剤感受性検査を行う細菌検査装置であって、

複数のウェルを有し、各ウェルに抗菌剤と前記細菌または真菌とを含む培養液中の菌を予め設定した複数の時点において顕微鏡観察を行う顕微鏡観察光学系と、

前記顕微鏡観察で得られる画像を表示画面上に表示するプロセッサと、を有し、

前記プロセッサは、前記画像に基づいて、前記細菌または真菌の円形度、周囲長、及び個数のうち少なくとも一つの特徴量を算出し、当該細菌または真菌の特徴量を予め設定された時間ごとに前記表示画面上に表示する、検査装置。